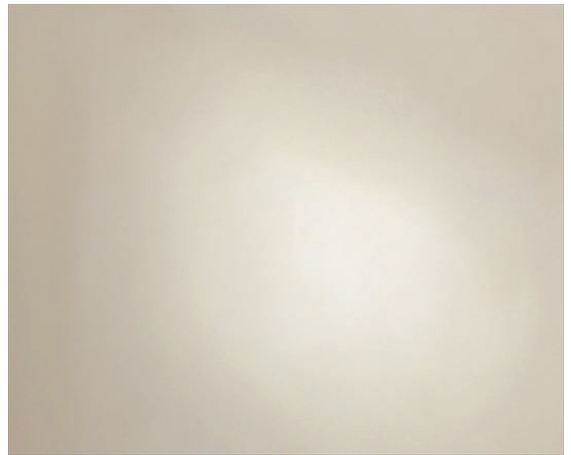


KUNST ARZT では、初となる野中梓の個展を開催します。
野中梓は、毎日目にする自宅の壁など、フラットなモノが内包する光を描くアーティストです。

「夕方、トイレの小窓から陽が差す時のテレビ画面」(2023)、
「昼下がり、ベランダから陽が差す時のテレビ画面」(2022)
といったタイトルが示すように、情景の一瞬を切り取る写真とは違い、可能な限り、そのモノと向き合い、その時に見えている様を描きます。特に、同じ場所に存在するモノが、時間帯など違う条件で描かれることで生み出される差異は、この世界の一断面を捉えているといえるでしょう。

(KUNST ARZT 岡本光博)



夕方、小窓から陽が差す時のトイレの壁

2023

油彩 / キャンバス

530 mm × 652 mm

経歴

1991年 大阪府堺市出身

2016年 京都嵯峨芸術大学 大学院芸術研究科芸術専攻造形絵画分野 修了

【個展】

2016年-2023年 野中梓展 (0 ギャラリー eyes・大阪) *毎年開催

2021年 野中梓展 (0 ギャラリー・東京)

2022年 野中梓展 (THE TERMINAL KYOTO・京都)

【グループ展】

2012年 blue project (MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w・京都)

2013年 KYOTO CURRENT 2013 (京都市美術館別館・京都)

2015年 Perfume Art Project (堀川出水団地第三棟・京都)

2015年 京都-清州 現在美術の地層 2015 -状態としての存在- (京都嵯峨芸術大学 アートスペース嵐・京都)

2015年 トゥールビヨン 13 (0 ギャラリー eyes・大阪)

2016年 「思考する視線 2016」 (Art Space-MEISEI・京都)

2016年 -世代を超えて 2 人展 vol.6- 宇野和幸・野中梓 2 人展 (銀座 K's ギャラリー・東京)

2016年 LA VOZ 22nd (京都市美術館・京都)

2017年 Between the scene and the form 2017 高岡美岐・野中梓 (0 ギャラリー・東京)

2018年 「思考する視線 2018」 (Art Space-MEISEI・京都)

2018年 Young Creators Award 2018 (MI gallery・大阪)

2019年 嵯峨美術大学ゆかりの作家たち展 (ギャラリー大井・大阪)

2019年 -存在- イメージの形象 第2章「入佐美南子と仲間たち」展 (嵯峨美術大学 アートスペース嵐・京都)

2019年 新・輝いて麗しの油絵具 (0 ギャラリー eyes・大阪)

2021年 群馬青年ビエンナーレ 2021 (群馬県立近代美術館・群馬)

2022年 ドラッグ&ドロップ 2022 (0 ギャラリー eyes・大阪)

2022年 戸山恢 現代アートコレクション展 (トキ アートスペース・東京)

2023年 Still life-静物は沈黙を容認しない (0 ギャラリー eyes・大阪)

2024年 2月6日(火) から 11日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

近年、自宅の壁面や冷蔵庫、テレビ画面など、毎日目にする物の平らな表面を見ながら油絵を描くことを続けている。私が見ていても見ていなくても、その対象はただそこに在る。普段は気にも留めていないが、関わろうと働きかけたとき(油絵具でその色や光や影を描こうと試みたとき)に、ふと見つかる。そこには「冬の陽の向きじゃないとこの壁に光は当たらないのか」とか「冷蔵庫そのものは白色だけど、廊下の電気と床の反射でこんな色になるのか」とか、ささやかな発見と感動がある。制作時には、描く対象を直接見て描くことを心掛けている。夕方、小窓から陽が差す時のトイレの壁を描きたい時は、数日おきに夕陽が差す時間帯にトイレに座って絵を描く。

それまでなんともなかったものが、特別なものになること。自分の中にある何かをひねり出すのではなく、自分の外にある何かに出会っていくこと。そんな瞬間を大事にしながらこれからも絵を描いていきたいと考えている。

展覧会コンセプト

自宅の壁面など、毎日目にする物の平らな表面に見える明暗や色味を見ながら絵を描く。塗り重ねた油絵具の層には光が内包される。光を感じる画材の力を借りて、光る壁面を描写する。



夕方、お風呂の小窓から陽が差す時のテレビ画面_2
2022年 油彩/キャンバス 227mm×158mm



夕方、お風呂の小窓から陽が差す時のテレビ画面_3
2022年 油彩/キャンバス 227mm×158mm



THE TERMINAL KYOTO「野中梓展」展示風景
2022年



01_x_2022.01.09(空シャッター)
01_9_2022.01.10(水底の落ち葉)
01_27_2022.01.10(水底の落ち葉と、水面の木と空)
01_34_2022.01.10(水底の落ち葉と、水面の木と空)
01_E_2022.01.10(夕陽と木々と池)
2022年 リバーサルフィルム、LED